



2019年2月1日

各 位

三重県保険医協会

運動の取り組みについて

2018年12月6日、保団連中央要請行動と「第4回歯科技工問題を考える懇談会」（「保険で良い歯科医療を」全国連絡会主催）と「『みんなでストップ！患者負担増』署名アピール集会」が開催された。三重協会から鶴飼・梅村各副会長が参加した。

集会には全国から約110人が参加。全日本年金者組合、日本高齢期運動連絡会ははじめ与野党の多くの国会議員が参加し連帯の挨拶をした。フロア発言では活発な意見が飛び交った。集会の前後には①さらなる患者負担増をやめ、窓口負担の軽減を求めます②消費税10%増税中止と医療への「ゼロ税率」（免税）の適用の二つの要請項目を県選出および比例東海選出の各議員（秘書対応を含む）に要請し、本村伸子議員（共・衆・比例東海）、岡田克也議員（無・衆・三重3区）には議員本人に直接要請した。両議員には要請項目以外にも歯科が置かれている厳しい現状を説明し共感していただいた。集会後には歯科技工問題改善を求める厚労省要請に参加した。鶴飼伸保団連理事（三重協会副会長）の進行で始まり、要望の趣旨説明、厚労省からの回答、その後、質疑討論が行われた。三重協会からは歯科医療機関の経営困難と歯科医療費の総枠拡大を訴え、厚労省医政局歯科保健課小嶺祐子課長補佐から問題解決策として賛同を得られた。充実した一日を過ごし帰路に就いた。

（三重県保険医協会副会長・梅村忠司）

以 上